

2023 年 1 月 10 日

清里フォトアートミュージアム (K・MoPA) 展覧会開催のお知らせ

「Platinum Print — 肖像の回廊」展を
2023 年 3 月 18 日 (土) ～ 5 月 28 日 (日) まで開催

清里フォトアートミュージアム (K・MoPA / ケイモパ、山梨県北杜市) は、2023 年 3 月 18 日 (土) から 5 月 28 日 (日) まで「Platinum Print — 肖像の回廊」展を開催いたします。

プラチナ・プリントとは、19 世紀に発明された古典技法のひとつです。多くの写真技法のなかでも、優美な色調と黒から白までの豊かな階調表現は比類なく、写真家を魅了してきました。

当館では、基本理念のひとつとして、プラチナ・プリントによる作品の収集と技法の継承につとめて参りました。

本展では、1878 年制作の最古のプラチナ・プリントから 2000 年代の作品までを展示いたします。100 年に及ぶポートレイトの多様な写真表現をご覧いただくとともに、プラチナ・プリントの気品溢れる優美な色調、繊細な光のグラデーション、ディテールの豊かさをお楽しみください。(約 100 点)



エドワード・S. カーティス (米、1868-1952)
《ズニ族の首長》1905 年頃

開催概要

展覧会名 : Platinum Print — 肖像の回廊

会 期 : 2023 年 3 月 18 日 (土) ～ 5 月 28 日 (日)

会 場 : 清里フォトアートミュージアム

主 催 : 清里フォトアートミュージアム委員会

特別協賛 : 真如苑 (社会貢献基金)

開館時間 : 10:00 ～ 18:00 (入館は 17:30 まで)

休 館 日 : 毎週火曜日

ただし 3 月 21 日 (火・祝)、5 月 2 日 (火) は開館

入 館 料 : 一般 800 円 (600 円) 学生 600 円 (400 円)

高校生以下無料

※() 内は 20 名様以上の団体料金

※家族割引 1200 円 (2 名～ 6 名様まで)

交通のご案内 車にて : 中央自動車道須玉 I.C.

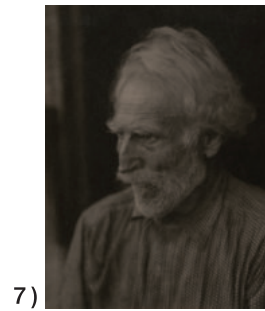
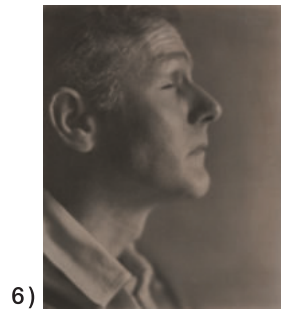
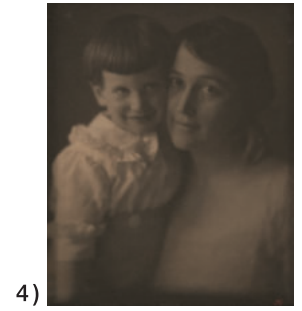
または長坂 I.C. より車で約 20 分

J R : 中央本線小淵沢駅にて小海線乗り換え

清里駅下車、車で約 10 分

広報用作品画像

掲載用画像データ 1 から 9 までをご用意しています。画像のリクエストは info@kmopa.com にて承ります。



- 1) エドワード・S. カーティス（米、1868-1952）《ズニ族の首長》1905年頃
- 2) ジョージ・H. シーリー（米、1880-1955）《乙女とボウル》1907年
- 3) アルヴィン・ラングドン・コバーン（米 / 英、1882-1966）
《花輪をかぶった乙女》1908年頃
- 4) クラレンス・H. ホワイト（米、1871-1925）
《チャールズ Jr. とアリーン・リーブマン》1910年頃
- 5) アントン・ヨーゼフ・トレチカ（オーストリア / チェコ、1893-1940）
《画家エゴン・シーレの肖像》1914年 ©Kicken Berlin
- 6) エドワード・ウエストン（米、1886-1958）
《盲目のひと（ラミエル・マクギー）》1922年
- 7) ドリス・ウルマン（米、1882-1934）《（無題）》1934年頃
- 8) ジェリー・N. ユルズマン（米、1934-2022）
《無題》1976年 ©Jerry N. Uelsmann
- 9) ルイス・ゴンサレス・パルマ（グアテマラ、1957-）
《無題》1998年 ©Luis González Palma
- 10) アーヴィング・ペン（米、1917-2009）
《マルセル・デュシャン、ニューヨーク》1948年
©The Irving Penn Foundation

プラチナ・プリントとは

鉄塩の感光性を利用し、プラチナ（塩化白金）と鉄塩を塗布した印画紙に露光する古典技法のひとつです。暖かみのある優美な色調、漆黒の黒と白の濃淡、階調の豊さ、保存性の高さが特徴です。感光性が低いいため、ネガと印画紙を版画のように直接重ねて紫外線で焼き付けます。

20世紀初頭、短命に終わり、戦後甦った技法

プラチナ・プリントは、写真が誕生した 1839 年よりも前から実験が行われていましたが、イギリスの発明家ウィリアム・ウィリスによって特許が取得されたのは 30 年以上後の 1873 年でした。

ウィリスが販売した印画紙「プラチノタイプ」は高品質で、欧米で人気を博しましたが、第一次世界大戦時、プラチナが軍需産業の重要な金属として使われるようになり、印画紙の生産は停止され、作品も途絶えてしまいました。また、第二次大戦後は、銀塩の感度の高い印画紙、モノクロのゼラチン・シルバー・プリントが大量生産され、安価で引き伸ばしも可能なため、人々の関心は銀塩へ移ってしまいました。



ウィリアム・ウィリス・ジュニア
(英、1841-1923)
《田舎の小屋 (Rustic Cottage)》1878 年

アーヴィング・ペンにより甦った技法

写真史上、遅れて登場し、最も美しいと愛された技法でありながら、あまりにも早く去ったプラチナ・プリント。一方、戦後の均一生産化したモノクロ印画紙に対して、個性的な表現技法を求め、その復活に困難をためらわずに情熱を注いだのが、アメリカの写真家アーヴィング・ペン (1917-2009) でした。1960 年代後半より、ペンによって現代的な息吹を与えられたプラチナ・プリント作品が次々と発表されました。

ペンは、象徴的な言葉を残しています。「私は何年もの間、黙々と刷毛で感光剤を塗り、印画紙を一枚一枚用意してきた。何千時間と費やしたはずだ。完璧なプリントに到達することを目指して。」現在も既成の印画紙はなく、手塗りの技法が継承されています。本展ではペンによる作品 7 点を展示いたします。

見どころ

プラチナ・プリントは、いったん現像すると経年による変化はありません。私たちは撮影・現像時と全く変わらない写真と対面することができるのです。写真には撮影時の「光」と「時間」、そして写真家と被写体となった人々との「関係性」が封じ込められています。100 年前の写真に刻まれた人々との出会い、そして彼らと向き合った写真家の眼差しは、時空を超えて、鑑賞者に濃密な体験をもたらすでしょう。

会期中の特別展

● ヴィヴィッドな発色が特徴のダイトランスファー技法による作品

ハロルド・エジャートン博士 (米、1903-1990) の代表作 10 点 (当館蔵) をご覧いただきます。エジャートン博士はストロボの発明者で、世界で初めて静止画像を捉えた“ミルクの王冠”で知られています。ダイトランスファーは、色鮮やかで保存性に優れたカラープリントでありながら、途絶えてしまった技法のひとつです。



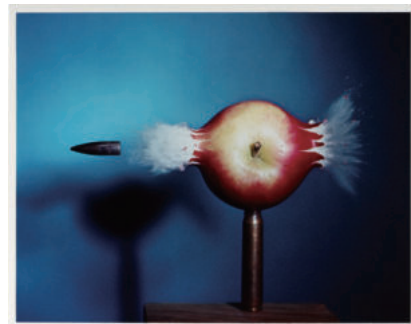
ハロルド・エジャートン博士
《ミルク・クラウン》1957 年

© Harold Edgerton/MIT courtesy Palm Press, Inc.

ダイトランスファーとは：

ヴィヴィッドな発色としっとりとした質感が特徴のカラープリント技法です。1946年にコダック社が発表したもので、染料転写方式プリントとも呼ばれます。シアン、マゼンタ、イエロー各色の染料を含ませたマトリックスフィルムを、1枚の乳剤（ゼラチン）層に転染することによって画像を形成します。

安定性に優れ、写真家が最終的な色のバランスをコントロールすることができます。しかし、転染紙に見当を合わせて手作業で塗り重ねる作業は複雑で、熟練を要するものでした。そのため、希少価値の高いものとして、20世紀後半、多くのアーティストやコレクターを魅了しましたが、材料の生産終了にともない、1993年に途絶えてしまいました。



ハロルド・エジャートン博士 《りんごを突き抜ける 30 口径（7.62 ミリ）の弾丸》1964 年
© Harold Edgerton/MIT courtesy Palm Press, Inc.

会期中のワークショップ

● 瀬戸正人副館長による高校生写真ワークショップ 2023 年も開催

高校 1～3 年生対象。個人、学校単位、どちらのご参加も自由です。

生徒が持参した作品データをプロジェクターに投影し、副館長の瀬戸正人（写真家）が講評をおこなう 2 時間の WS です。

2022 年は全 3 回開催し、生徒自身が展示作業も経験。10 名の作品を当館エントランスホールにて発表しました。



● WS の様子を公開中 <https://www.kmopa.com/category/highschool/>

● WS 動画はこちら ↓ ↓ ↓ ↓ ↓



* 2023 年の WS 開催スケジュールは
随時ウェブサイトへアップします。



次回展示のご案内

展覧会：「鉄道愛」／会期：2023 年 7 月 7 日（金）～9 月 24 日（日）

アメリカ最後の蒸気機関車の姿をとらえた O. ウィンストン・リンク（1914-2001）と、日本を代表する鉄道写真家、広田尚敬（1936-）。当館収蔵作品より元祖「撮り鉄」の 2 人を紹介するほか、元国鉄マン・滝口忠雄が、職員の目線にとらえた 70 年代の「国鉄」、清里を走る高原列車・小海線など、鉄道愛あふれる写真展。特別編として「ねこ鉄」、また、1920-30 年代アメリカ山岳鉄道をテーマとした精巧なジオラマも初公開。



O. ウィンストン・リンク
《ナチュラル・ブリッジ駅に到着する列車 No.2 バージニア州》1956 年
Train No.2 Arrives at Natural Bridge Station, Virginia, 1956
© O. Winston Link Image Courtesy of the O. Winston Link Museum

お問い合わせ

本展の詳細は学芸員・山地裕子 yamaji@kmopa.com、
画像データにつきましては、info@kmopa.com / Tel: 0551-48-5599 までお問い合わせください。

ホームページ <https://www.kmopa.com>
ツイッター <https://www.twitter.com/kmopa>
フェイスブック <https://www.facebook.com/kmopa>
インスタグラム <https://www.instagram.com/kmopa2023/>



K* MoPA



〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545-1222 清里フォトアートミュージアム
Tel: 0551-48-5599 (代表) Fax: 0551-48-5445 Email: info@kmopa.com